

# あぐり<sup>💡</sup>deなんたん

南丹農業改良普及センターだより

令和5年2月  
第25号

特集

黒大豆栽培

「～基本技術の大切さを見直そう～」

…P2～P3

## Topics

- 普及センターの取り組み ……P4
- 新規就農者の紹介 ……P6
- 表彰者の紹介 ……P7
- 退任・新任農業士の紹介 ……P7
- メール配信登録のご案内 ……P7

## ■普及センターからのお知らせ ……P8

- 令和5年度就農サポート講座受講生募集
- あなたは大丈夫？インボイス制度への準備
- New Face（新規採用職員紹介）

# 大豆 基本技術の 大切さを見直そう

近年の大雨の頻発や異常な高温などで、黒大豆の収量が伸び悩んでいます。京都丹波地域の特産物として今後も生産を続けていくためにどうしたらいいか考えてみましょう。

全部は難しくてもできるものから取り入れて、湿害を防ぎましょう。

2 生育を支えるのは「根」  
株元に土を寄せ集める土寄せ作業には重要な意味があります。①除草、②土の通気性の改善、③新

## 1 大雨・長雨に備える

黒大豆は畑作物であり、水のたまる畑では栽培できません。排水対策は最も重要です。

排水対策をしているつもりでも、最近では豪雨や長雨など極端な雨が多いため、これまでとは違う一層の対策が必要です。

また、いつ大雨に見舞われるかわからないため、畑の準備段階からの対策が必要です。図1に排水対策を示しました。

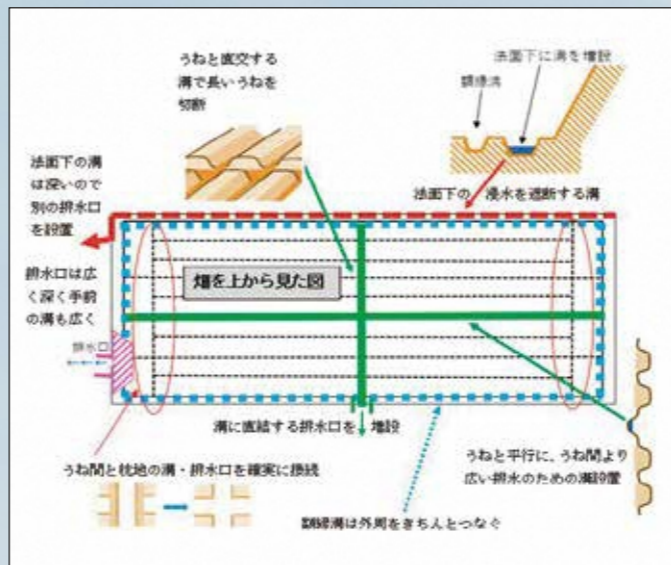


図1 いろいろな排水対策

根の発生促進、④根域の確保、⑤うね間の溝つげによる排水改善などが挙げられます。適期の土寄せは根の量を増大させ、深く張った根は夏の乾燥に強く、秋の豆の肥大にも力を発揮します。

土寄せは、先の排水対策とともに、根量を増やし、黒大豆の生育を安定させる重要な作業です。

## 3 乾燥は開花・着莢の大敵

近年、開花・着莢期の8月は、猛暑日が続くなど過酷な条件に見舞われることが多いです。高温で強い乾燥に遭うと、花が落ち、莢着きは悪くなります。土が乾き切る前にかん水を行うことが大切ですので、夏場にかん水できるほ場を選んで栽培するようにしてください。

実施対策	対策内容	下の番号を入力	ポイント
排水溝	1	1-2又は1-4を入力	5
溝・溝際処理	2	溝深のみ	3
排水口の拡大	1	現状のまま	0
溝間の排水口	2	2か所	3
長いうねの切断	2	うねの長さ25m以上	5
うね間以外の溝	1	なし	0
うねの形	●		
排水溝の調査	○		
ポイント合計			10

図2 「排水対策診断システム」の画面  
排水対策をイラストで紹介、実施している対策を選択すると診断できる

## 4 パソコンで適切な管理を

普及センターでは、排水対策や土寄せを適切に行うためのパソコンソフトを作成しました。

「排水対策診断システム」は、対策技術の紹介と、実施している対策の選択入力力で採点・診断するものです(図2)。

「土寄せ判断システム」は、播種時期に応じて適切な土寄せ時期を示すものですが、雑草の発生程度に応じて茎葉処理除草剤散布と土寄せの作業順も判断します(図3)。これらはExcelで利用できますので、利用を希望される方は普及センターまでご連絡ください。

作業	実施月日	おすすめする作業適期	作業実施状況に対する評価・コメント	観察記録(月日又は条件1~3)
播種	6月1日			
2次除草	6月2日	6月1日 ~ 6月4日	適期内に実施。	1~2地入力
定植	6月9日	6月9日 ~ 6月15日		
土寄せ①	6月27日	6月21日 ~ 6月26日	土寄せの適期遅れ、その後の雑草の発生、生育停滞の恐れあり。	土寄せの土壌条件
土寄せ②	7月15日	7月9日 ~ 7月17日	適期内に実施。	土寄せの土壌条件
茎葉処理	7月20日	7月4日 ~ 7月12日	茎葉除草剤処理適期遅れ。	開花始の着莢始の(5mm以上)
播種		開花前葉長を入力		

図3 「土寄せ判断システム」の画面  
水色欄に播種日やほ場の雑草状況を選択肢で入力すると今後の作業適期を表示する

## 5 害虫も収量に大きな影響

葉や莢を食べるハスモンヨトウ等の蛾の幼虫や種子を吸汁するカメムシの被害は収量に大きく影響します。

**ハスモンヨトウ**

分散するぐら  
い成長した虫は  
農薬が効きにくく、白変葉に  
注意し、分散前に防除するこ  
とが大切です。

**カメムシ類**

莢が着ぎ始め  
る頃から飛来  
し、莢が黄色くなり始める頃  
まで吸汁を続けます。莢が落  
ちる、種子が肥大しない、種  
子の変形・変色する等の被害  
がです。

これらの被害を抑え収量を確保するために、莢の着く頃から莢肥大期にかけて4回程度の適期防除

が必要ですが、暑い中の作業となりますが、ドローン散布、作業委託等の活用も検討し、防除の徹底をして収量確保を目指しましょう。

ドローン散布については令和3年に農薬の付着程度を調べたところ、株の下に行くほど付着量は少なく、葉裏の付着はわずかという結果となりました。この試験での害虫の防除効果ははっきりしませんが、別の時期での浸透移行性の薬剤散布では効果が見られました。

ドローンによる散布については、株の小さい時の利用、浸透移行性のある農薬を選ぶなどしましょう。

最近の天候は、「経験したことのない」ことがしばしば起こります。栽培技術もそれに対応していく必要があります。基本技術こそ作物にとって大切な技術であり、作物が持つ力を発揮させて収量を確保しましょう。

# 普及センターの取り組み

## 京都府オリジナル米新品種 「京式部」で肥料試験を実施

厳しい夏の暑さに負けない、味や香りにこだわった京都府オリジナル水稲新品種「京式部」。

令和2年に命名、令和3年から本格栽培が始まりました。基肥と穂肥を施用する分施肥系だけで栽培されてきましたが、農家から一発施肥体系での栽培希望が多かったため、肥料試験を実施しています。

本試験は当センター以外でも山城地域を除く京都府内で実施していますので、その結果も合わせて検証しながら、さらなる肥料改良を目指していきます。

京式部は京都府内で令和4年産の100haから5年産は120ha、6年産は更に作付け拡大を目指しています。



出穂期前に関係者で肥料の違いによる生育状況を確認しました

## 水田自動水管理システムの有用性を検討

水稲の中小規模ほ場をもつ営農組織が、今後も継続的に営農できるように担い手への水管理の負担軽減を目的に、自動水管理システムの有用性を検討しました。

今回は自動水管理システムの中でも比較的安価で設置が容易である水管理システムを試用しました。試用した水管理システムはスマートフォンで常時観測できる水位センサーと、水位センサーの水位と連動させることで自動でゲートの開閉を操作できる給水ゲートがセットになったシステムです。

水管理システムが慣行の水管理と比べて省力化できるか、また問題なく水管理ができるかを実証しました。

水管理システム設置区では、あらかじめスマートフォンで給水ゲートを開閉する基準水位を設定し、普段の水管理を自動で行いました。また、農薬散布時や中干し時の水管理は、給水ゲートの開閉をスマートフォンから遠隔で操作しました。

その結果、水管理システム設置区では水田に行って水口の開閉を手動で操作することはなく、慣行区と比べて大幅に水管理の省力化を図ることができました(表)。

今後、工事不要で安価な水管理システムの活用が期待されます。



水田自動水管理システム設置風景

表	水口を手動で操作した回数	
	水田自動水管理システム設置区	慣行区
操作回数	0回	14回

## 豪雨対策

近年、短時間で記録的な豪雨や大型台風が増え、事前に大雨への対策をすることがより重要になっています。冬期にできる各作物の豪雨対策をまとめましたので、点検等の参考にしてください。

### 1 技術対策

- (1) 露地(水稲、豆類等)
- ・排水口・取水口及び排水路につながる溝に破損がないか、整備・点検をする。用水路周辺の草刈りや、用水路に破損がないか点検する。
  - ・ほ場のり面の改修など、重機を用いる工事は冬の間に行いましょう。

### (2) 施設

- ・ハウスに破損がないか、また交換する部品がないか点検する。
- ・ハウス周りの排水溝が浅くなっていないか、排水溝に集まった水がほ場外に排水できるか確認する。

### 2 農業保険等への加入

- ・近年増加する気象災害に備え、経営の安定を図るために園芸施設共済、収入保険等への加入がおすすめです。詳しくはNOSAー京都 京都支所へお問い合わせください。

NOSAー京都 京都支所  
〒622-0041  
南丹市園部町小山東町清辺21番地2  
TEL:0771-631-2951  
FAX:0771-631-2955



**トラクター運転時はシートベルトの着用を!**

農作業による死亡事故は、全産業平均の9倍の発生率となっており、高齢農業者による事故の割合が増えています(令和2年)。

死亡事故のうち、農業機械の操作に伴うものが7割を占め、その約半数が乗用型トラクターによるもので、大半はシートベルトの着用がなかったことが原因とされています。運転時にはシートベルトを締めるようにし、重大な事故発生を未然に防ぎましょう。

## 「畑女子in京都丹波」の研修会を3年ぶりに開催!



京の農林女子ネットワークキャラクターみのりちゃん

南丹管内の女性農業者で構成するネットワーク「畑女子in京都丹波」は平成28年に結成し、これまで、農業と家事・育児をテーマにした意見交換や、野菜の栄養や料理に関する研修、お料理コンテストを開催するなど、交流と相談できる仲間づくりを進めています(メンバー16名)。今年度は3年ぶりに京丹後市の(株)自然耕房あおきにおいて視察研修を行いました。

自然耕房あおきでは、女性メンバーが中心となって有機栽培や野菜セットの販売加工など幅広く経営されており、有機栽培を始めた頃の苦労話をはじめ、土づくりのポイントや農福連携の取組についても学びました。また、自然耕房あおきの女性メンバーとも活発に交流を深めることができました。



(株)自然耕房あおき現地視察(令和4年度)



農家と家事・育児をテーマにした意見交換(平成29年度)

「畑女子in京都丹波」では、仕事の悩みを共有したり、喜びを分かち合う仲間を大募集しています。また、京都府全体の「京の農林女子ネットワーク」の活動(※)にも参加することができます。希望される方、興味のある方は普及センターまでお問合せください。

※キャリアアップ集中講座や企業との商品開発等に取り組んでいます。



# 新規就農者の紹介



「食べる人が畑に野菜を買いに行きたくなる農業」を目指して

かたもと 満大さん  
(亀岡市篠町)

亀岡市篠町で有機農業を営む片本満大さんは令和2年8月から就農されています。就農のきっかけは友人を通じて知った丹後の梅本農園でのオーガニック野菜との出会い。取り組む人が少ないオーガニックの野菜を自分でも食べてみたいと思ったことがきっかけです。

植物由来のたい肥を使う良質な土づくりや自家育苗にこだわり、年間で80品目以上の野菜を有機農法で栽培されています。野菜を作る人と食べる人の距離を近づけ、「食べる人が畑に野菜を買いに行きたくなる農業」を目指して、栽培のみならず食育活動にも取り組まれています。



排水対策と土づくりにこだわって

まるい 諒平さん  
(南丹市八木町)

幼い頃から農業にあこがれを抱き、府立農業大学校で基本技術を学んだ後、平成28年4月に農業生産法人で就農し、3年間勤めたのち、令和元年8月に独立し経営を始めました。

現在、経営の主力は葉ネギとナスで、冬はブロッコリーや花菜などを栽培されています。また、経営を安定させるため、サトイモや、ヤマノイモなど新たな品目の栽培にも取り組まれています。

これまでに出会った人々との繋がりを大切にし、栽培面では「排水対策と土づくり」にこだわり、降雨後、速やかに排水できるよう明渠と排水口の整備に努め、また、堆肥や緑肥作物による土づくりを積極的に行っています。



京丹波町発、若手農家のホープ!

のむら 幸司さん  
(京丹波町保井谷)

家業である農業のバトンを受け継ぎ、後生に繋げるとともに農業で地域を盛り上げたいという強い思いから令和3年4月に就農されました。

賀茂なすやズッキーニ、黒大豆枝豆等、季節毎に品目を絞って栽培し、全国的にもめずらしいラディッシュの周年栽培にも挑戦されています。また、近所の主婦をパートとして雇うことで、地域雇用の創出に力を入れるとともに担い手不在の水田を預かり収益性の高い作物へ転作を進めるなど地域農業の振興のため積極的に活動されています。

今後はハウスを増設してラディッシュ生産の規模拡大をしていく予定であり、地域の中核を担う若手農業者としての今後の活躍が期待されます。



《敬称略》

## 表彰者の紹介

令和4年春の叙勲 黄綬褒章



谷山 建夫 (京丹波町)

(農)京丹波はたるの里を設立し、黒大豆等の栽培や作業受託による農地保全、女性部組織による農産加工など多角的な取組はモデル事例となり、地域発展に多大に貢献された。

令和4年秋の叙勲 黄綬褒章



梅原 眞 (京丹波町)

栗栽培では水田での栽培方法を構築して生産規模を拡大し、JA京丹波波くり部会長として積極的な改植に取り組み農家所得向上のために貢献された。

令和4年度(第61回)農林水産祭 内閣総理大臣賞(むらづくり部門)

令和4年度豊かなむらづくり全国表彰事業 農林水産大臣賞

下集落支援事業委員会(南丹市美山町)

高齢化が進む中、生きがいを持ち健康で明るく暮らす地域づくりを目指して、農業・食文化・伝統文化・交流の4チームを核に活動された。

◆京都府農林水産業功労者表彰

【亀岡市】 菱田 光紀

【南丹市】 森 一生

【京丹波町】 株式会社ART CUBE 軽尾 孝

◆京都府若手農林漁業者表彰

【亀岡市】 桂 光毅

【南丹市】 戸田 康裕

【京丹波町】 児島ひかる 杉山 牧

## 退任・認定

された農業者の皆様

退任 お世話になりました

指導農業者

菱田 光紀 (亀岡市)

青年農業者

松村 千絵 (京丹波町)

新任 よろしくお願ひします

指導農業者



木村 良徳 (亀岡市)

青年農業者



林 綾希子 (京丹波町)

## 南丹農業改良普及センター メール配信登録のご案内

農業者の皆様は役立つ情報をいち早くお届けするため、メールでの情報提供を開始します。皆様のご登録をお願いします。

■対象者

亀岡市、南丹市、京丹波町の農業者等の皆様

■普及センターから連絡する情報(予定)

①技術情報(台風大雪対策、病害虫発生情報等)

②補助事業募集情報

③各種研修会・相談会の案内(農業応援隊事業説明会、就農サポート講座、農林センター成績報告会)など

■登録方法

①携帯電話等から、左記のメールアドレスへ空メールを(題名・本文なし)送信してください。記載のQRコードを読み取ると簡単に操作できます。



②自動返信メールが届きますので、リンクをクリックしてプロフィールを入力してください。

③登録完了です。退会も簡単にできます。

★登録は無料ですが、通信費はご負担願ひます。

★迷惑メール防止機能を利用されている方は、mmail.jpからのメールを受信できるように設定してから入会操作をしてください。

■その他 予告なく終了する場合がありますので、ご了承ください。登録されたメールアドレスはシステム管理会社のみで管理します。普及センターからメールアドレスが流出することはありません。



# 令和5年度 京都丹波就農サポート講座

受講生  
募集の  
ご案内

- ①対象 ①京都丹波地域の農業の担い手として基礎技術習得が必要な方  
②農福連携に取り組む施設で農業技術の指導に携わる職員 計20名程度
- ②日時 令和5年5月～11月 平日 13時30分～17時00分(予定)
- ③会場 京都府園部総合庁舎(南丹市園部町小山東町藤ノ木21) 他
- ④講座内容 土壌肥料や病害虫防除、野菜や豆類の栽培技術等 計8回程度予定
- ⑤受講料 無料
- ⑥申込方法 申込書に記入の上、持参・郵送・FAX・電子メールで申込み書類選考の上、5月上旬までに受講生を決定。  
募集要領・申込書の請求は普及センターまで(普及センターのホームページにも掲載予定)  
※内容は変更になる場合があります。
- ⑦申込期間 令和5年3月～4月20日  
～詳細は下記電話番号までお問い合わせください。～



## あなたは大丈夫? インボイス制度への準備

令和5年10月からインボイス制度が始まります。

売手であるインボイス発行事業者は、買手である取引相手(課税事業者)から求められたときは、インボイスを交付しなければなりません。

買手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手(売手)であるインボイス発行事業者から交付を受けたインボイスの保存等が必要となります。

詳しくは、国税庁ホームページの「インボイス制度特設サイト」等をご確認下さい。

### ●インボイス制度特設サイト

(<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeitsu/invoice.htm>)



### 新規採用職員 岸本 礼央 技師

亀岡市を担当することになりました。岸本礼央です。他県出身のためこれまでの半年間は、新しい発見や初めての経験に驚くばかりでした。普及活動の現場でも、農家の方から学ぶことは多く、日々新鮮な気持ちで業務に当たっています。これからは農家の方々、先輩のアドバイザーをもとに少しずつ成長し、早く一人前の普及員になれるようがんばります!皆様のお役に立てるように精進していきますので、よろしくお願ひします。

### 新規採用職員 上村 真理子 技師

4月から南丹農業改良普及センター配属となりました上村真理子と申します。京丹波町瑞穂地区を担当させて頂いています。毎日出勤時間が朝早く大変ですが、賑やかで個性豊かな職場の雰囲気慣れてきました。農家さんとの交流を通じて、農業の知識と技術を習得し、適切なサポートができる職員を目指します。まだまだ分からないことも多いですが、一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。

## 編集・発行

京都府南丹広域振興局 農林商工部  
南丹農業改良普及センター

京都府南丹市園部町小山東町藤ノ木 21

TEL.0771-62-0665 FAX.0771-63-1864

ホームページ▶ <http://www.pref.kyoto.jp/nantan/no-nokai/>

E-mail▶ [nanshin-no-nantan-nokai@pref.kyoto.lg.jp](mailto:nanshin-no-nantan-nokai@pref.kyoto.lg.jp)

【再生紙を使用しています】



上村技師(左)、岸本技師(右)